



野村高校「菜園共創プロジェクト」による傘アートの様子

第17回 のむら復興まちづくりデザインワークショップを開催しました！

開催概要

- 【日時】 令和5年1月20日（金）
19:00～21:00
- 【場所】 野村支所3階大会議室
- 【主催】 西予市
- 【協力】 愛媛大学・東京大学
- 【参加】 57名
- 【内容】 ○野村高校生 活動報告
○グループワーク 他

野村高校「菜園共創プロジェクト」年間報告

高校生が主体となって行う復興まちづくり活動。計画段階を含め活動開始から3年が経ちました。これまでの積み重ねを生かしつつ、更なる発展に向けて精力的に活動を行ってきました。

上の画像の「傘アート」もその一環。そのほか、野村小学生との共同活動、宇和の農家さんから譲り受けたどてかぼちゃを活用したハロウィーン

アートなど、多彩な活動からは確かな足跡を感じることができました。プロジェクト立ち上げに関わり現在は松山の大学に通う三瀬雄大さんは、今回ワークショップを補佐する大学生の立場で参加。「当時は2,3年後どうなるか楽しみにしていたが、想像を遥かに超えてくるレベルの活動で誇らしい。」と感想を述べました。



◀ 活動報告をする様子。
メンバー9名で報告を行いました。



◀ 野村小学生と取り組んださつまいも栽培。次回小学生も活動報告をします。

前回ワークショップで出た意見の反映



利用面では、スポーツができる場所の安全性向上のため可能な部分にやわらかいゴムマットを採用しました。景観面では、周辺環境との調和を図るために色彩の見直しなどを実施。安全と調和



の観点から利活用のしやすさを追求しました。「出入口を増やした方が良い」という意見は、複数の出入口を確保済みであること・利活用面積が減少することから反映を見送りました。また、「消防坂路からのホースの通り道等と施設との干渉が生じないか」という意見には、消防署と協議し「問題ない」ことを確認済みであることを報告しました。

管理棟施設の機能などを考えるグループワーク

整備予定地は、右岸側の三嶋神社周辺エリア。菜園などの近くです。今回はその施設で想定される活用方法やそれに合わせて必要となる機能などについてグループワークを実施しました。

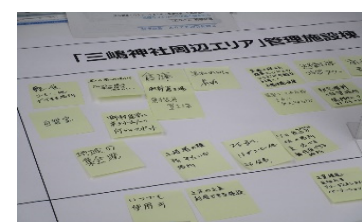
グループワークの前提となるコンセプト

- ① 必要最小限のコンパクトな施設
→ 平屋建て・多目的室・キッチン・トイレ・倉庫 など
- ② 公園との一体的利用や地域の集会施設として利用できる施設
→ 菜園とのつながり・幅広い活用・縁側空間 など



◎出てきた意見

三嶋神社周辺エリア管理棟	
どんな活用をしたいか、できるか	○交流・癒しの場 ○お茶をしながらおしゃべり ○菜園で採れた野菜の調理 ○菜園で使う道具の保管 ○子どもたちの料理体験 ○小中高生が自習できる場所 ○勉強会の場 ○手洗場や倉庫をここに集約 ○合宿・宿泊ができる など
そのために必要な施設や考慮すべき点	○和室 ○広い軒先、軒下 ○トイレ・エアコン ○倉庫 ○冷蔵庫 ○キッチン ○Wi-Fi（ネット環境） ○ホワイトボード ○スクリーン ○外電源 ○バリアフリー ○土足のまま利用できる空間 ○地元の方の意見の反映 ○利用ルール など



様々な活用案がでました。今回の意見は、優先順位をつけて整理をしつつ、管理棟施設の設計に反映していきます。